



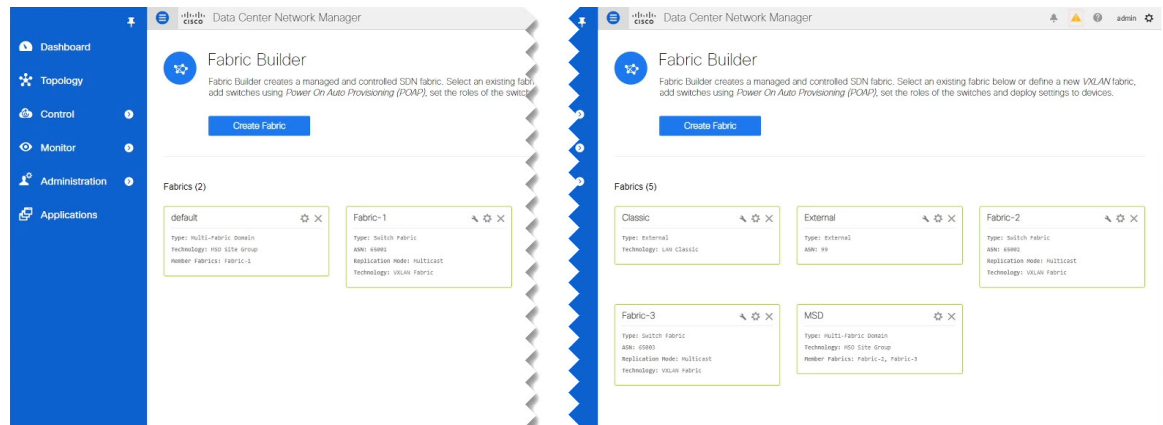
VRFおよびネットワークのブラウンフィールドインポート

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [スキーマの作成と設定のインポート \(3 ページ\)](#)
- [DCNN サイトからのスキーマ要素のインポート \(5 ページ\)](#)
- [テンプレートの展開と変更 \(7 ページ\)](#)

概要

次の項では、ブラウンフィールドインポート使用例のシナリオについて説明します。これにより、マルチサイトドメイン (MSD) の一部であるファブリックを含む、既存の DCMM ファブリック設定をインポートできます。また、これらの設定を、Nexus Dashboard Orchestrator を使用して、単一の場所から、複数のグリーンフィールドまたはブラウンフィールドファブリックにわたって拡張できます。同じ使用例が、[Cisco DCNM VRF](#) および [Nexus Dashboard Orchestrator](#) を使用したネットワーク設定のビデオデモで示されています。

この章の例では2つの異なる DCNM コントローラを使用します。最初の DCNM の Fabric-1 は単一のファブリックです。Fabric-2 と Fabric-3 は MSD の一部であり、2番目の DCNM によって管理されます。



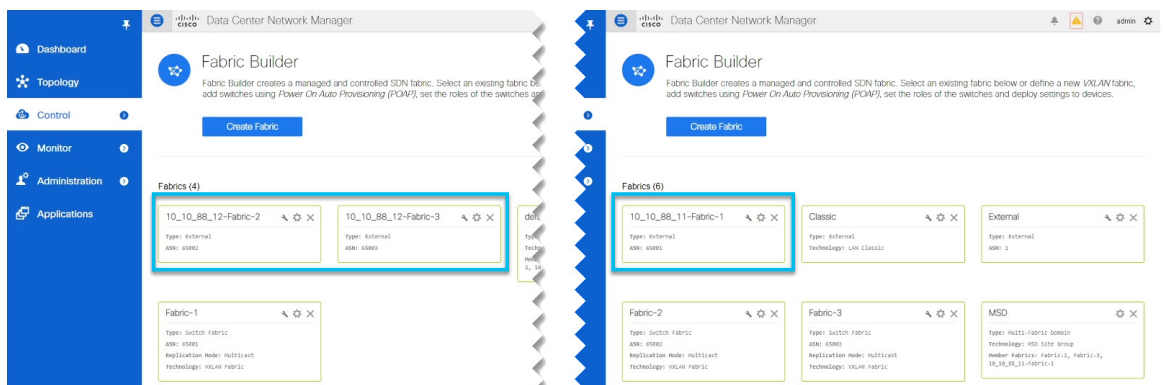
次の項では、既存の設定をインポートし、別の DCNM で管理されるファブリック間で拡張する方法と、新しい VRF およびネットワークを展開する方法について説明します。

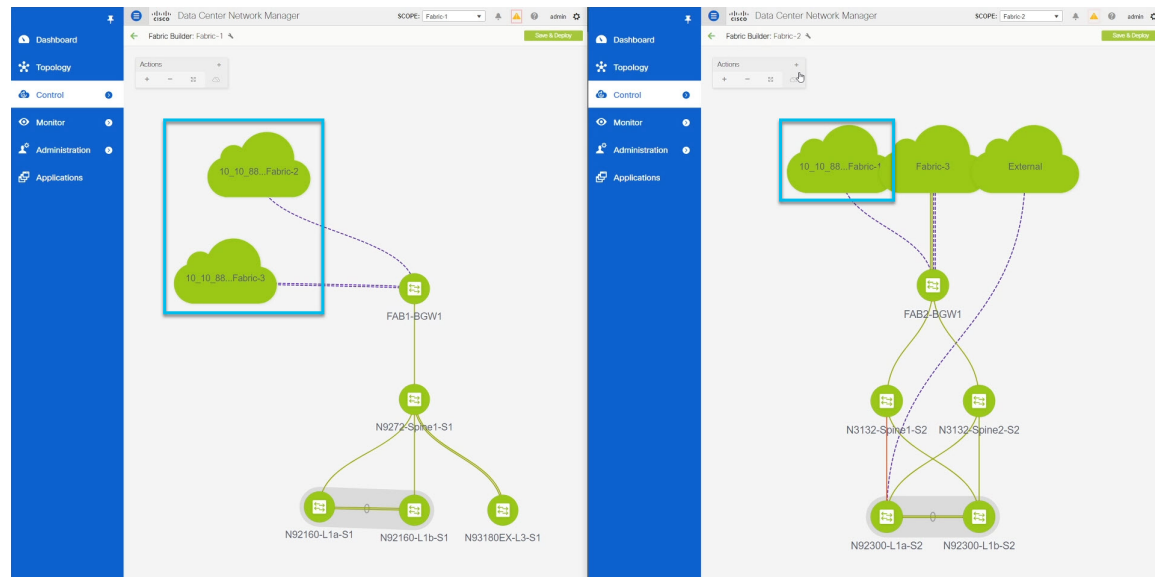
前提条件

環境内の既存の DCNM ファブリックから VRF とネットワークをインポートして管理する前に、次のものがが必要です。

- [Cisco Nexus Dashboard Deployment Guide](#) および [Cisco Nexus Dashboard Orchestrator Deployment Guide](#) の説明に従って展開され、インストールされた Nexus Dashboard クラスタと Nexus Dashboard Orchestrator サービス。
- Nexus Dashboard にオンボードされ、Nexus Dashboard Orchestrator GUI で管理できる既存の DCNM ファブリック（[サイトの追加と削除](#)を参照）。
- [Cisco DCNM サイトのインフラの設定](#)の説明に従って、サイト間インフラストラクチャを設定して展開します。

上記の「概要」セクションに示されている例のファブリックを展開すると、すべてのファブリックのインフラ設定を構成した後、各 DCNM に展開されたサイト間接続が表示されます。





スキーマの作成と設定のインポート

このセクションでは、スキーマとテンプレートを作成する方法について説明します。その後、既存の設定をそれらにインポートし、新しい設定を作成します。

始める前に

- [前提条件 \(2 ページ\)](#) で説明されている前提条件を確認し、完了している必要があります。

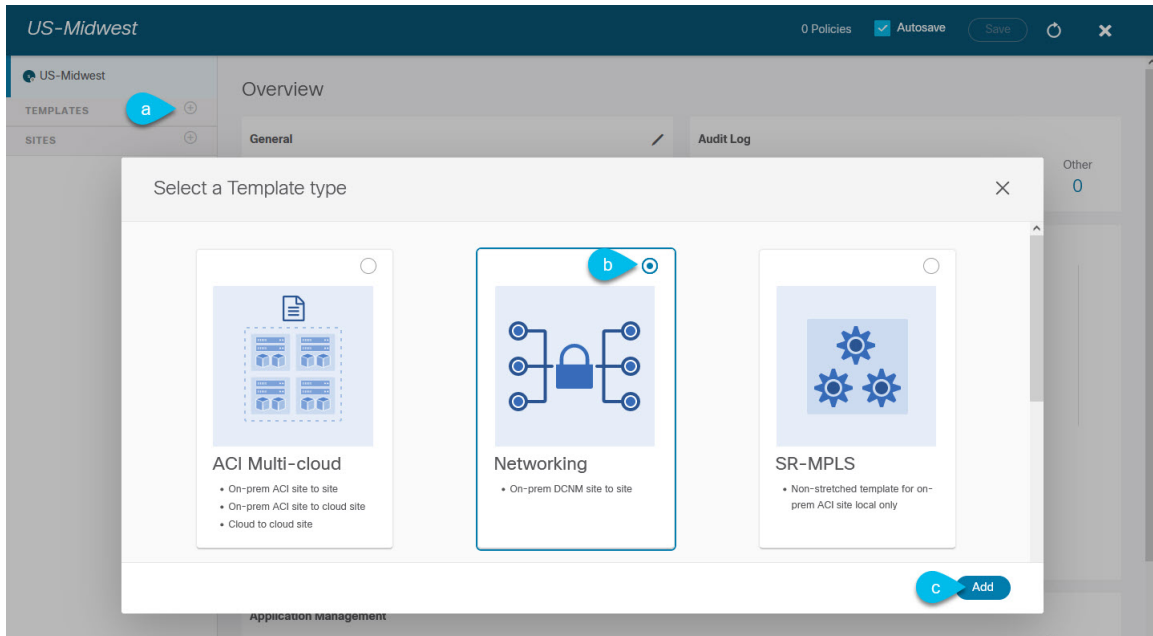
ステップ 1 Cisco Nexus Dashboard Orchestrator の GUI にログインします。

ステップ 2 スキーマを新規作成します。

- 左側のナビゲーションメニューで、[アプリケーション管理 (Application Management)] > [スキーマ (Schemas)] を選択します。
- [スキーマ (Schema)] ページで、[スキーマの追加 (Add Schema)] をクリックします。
- スキーマ作成ダイアログで、スキーマの [名前 (Name)] と説明 (オプション) を入力します。

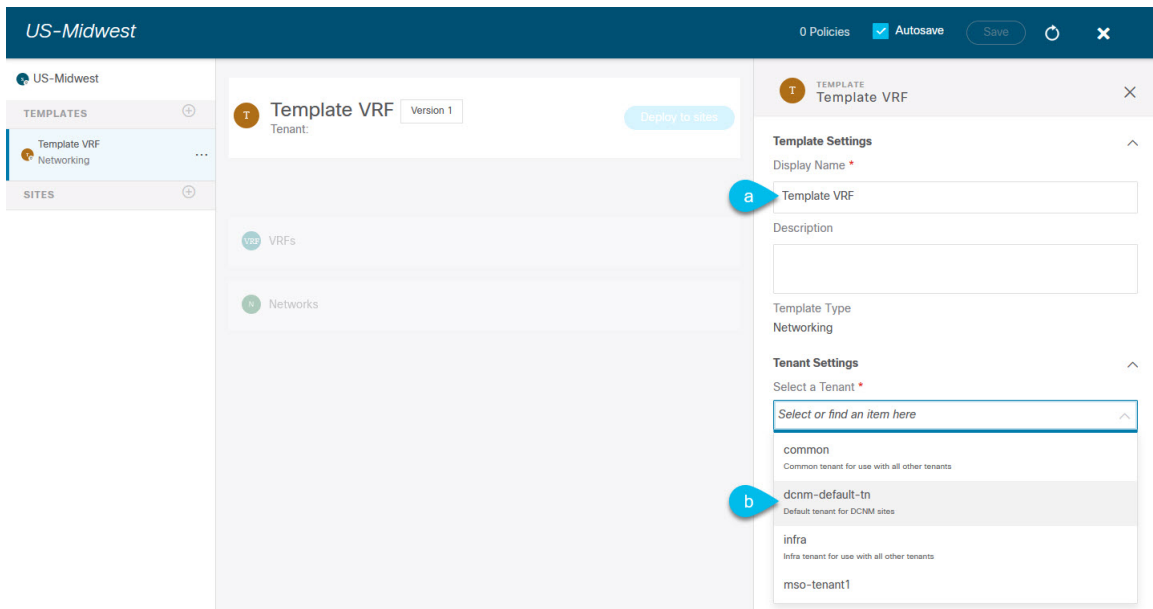
デフォルトでは、新しいスキーマは空であるため、1 つ以上のテンプレートを追加する必要があります。

ステップ 3 テンプレートを作成します。



- 左側のサイドバーの [テンプレート (Templates)] で、[+] 記号をクリックして新しいテンプレートを追加します。
- [テンプレート タイプの選択 (Select a Template type)] ウィンドウで、テンプレートタイプとして [ネットワークワーキング (Networking)] を選択します。
- [追加 (Add)] をクリックしてテンプレートを追加します。

ステップ 4 テンプレートの名前とテナントを指定します。



- 右側のサイドバーで、テンプレートの [表示名 (Display Name)] を指定します。
- [テナントの選択 (Select a Tenant)] ドロップダウンから、`dcnm-default-tn` テナントを選択します。

このテナントは、DCNM サイトのオブジェクトと設定を定義するために、デフォルトで NDO で作成されます。

- ステップ 5** スキーマビューの右上隅で、**[保存 (Save)]** をクリックしてスキーマとテンプレートを保存します。
設定をインポートする前に、作成したスキーマとテンプレートを保存する必要があります

DCNN サイトからのスキーマ要素のインポート

ここでは、既存のファブリックから設定をインポートする方法について説明します。

始める前に

- 前のセクションで説明したように、テンプレートを既存のファブリックに関連付ける必要があります。

-
- ステップ 1** メインペインで**[インポート (Import)]** ボタンをクリックし、インポート元の**[サイト (Site)]** を選択します。
インポートできるのは一度に 1 つのファブリックからなので、各ファブリックに対してこれらの手順を繰り返します。
- ステップ 2** **[インポート元 (Import from)] <site-name>** ウィンドウが開いたら、インポートするオブジェクトを 1 つまたは複数選択します。

Import from Fabric-2		×
POLICY TYPE	<input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> INCLUDE RELATIONS	🔍
VRF	0 out of 1 a <input checked="" type="checkbox"/> CORP-11	
NETWORK	2 out of 4	
	<input type="checkbox"/> CORP-1	
	<input type="checkbox"/> ENG-1	
	a <input checked="" type="checkbox"/> ENG-11	
		c Import

- a) インポート画面では、これらの既存のオブジェクトのすべてまたは一部を選択できます。

上記の例では、ENG-11 および CORP-11 ネットワークを、MSDの一部である Fabric-2 からインポートします。

(注) Nexus Dashboard Orchestrator にインポートするオブジェクトの名前は、すべてのサイトにわたって一意にする必要があります。重複する名前を持つ別のオブジェクトをインポートすると、スキーマ検証エラーとなり、インポートに失敗します。同じ名前のオブジェクトをインポートする必要がある場合は、先に名前を変更してください。

- b) **[関係を含める (Include Relationships)]** ボックスをオンにして、これら 2 つのネットワークで使用される VRF もインポートされるようにします。

または、VRF を手動で選択することもできます。

- c) **[インポート (Import)]** をクリックしてオブジェクトをインポートします。

ステップ 3 他のファブリックからオブジェクトをインポートするには、この手順を繰り返します。

インポート元のサイト（この例では Fabric-2）の下でテンプレートを選択すると、ネットワークには、そのサイトからインポートされたスイッチとポートの設定がすでに設定されています。ただし、同じネットワークが存在する別のファブリック（Fabric-3）でテンプレートを選択した場合、スイッチ設定は空になります。

インポートしたネットワークのインターフェイス設定を取得するには、他のファブリックから同じネットワークを再度インポートします。

テンプレートの展開と変更

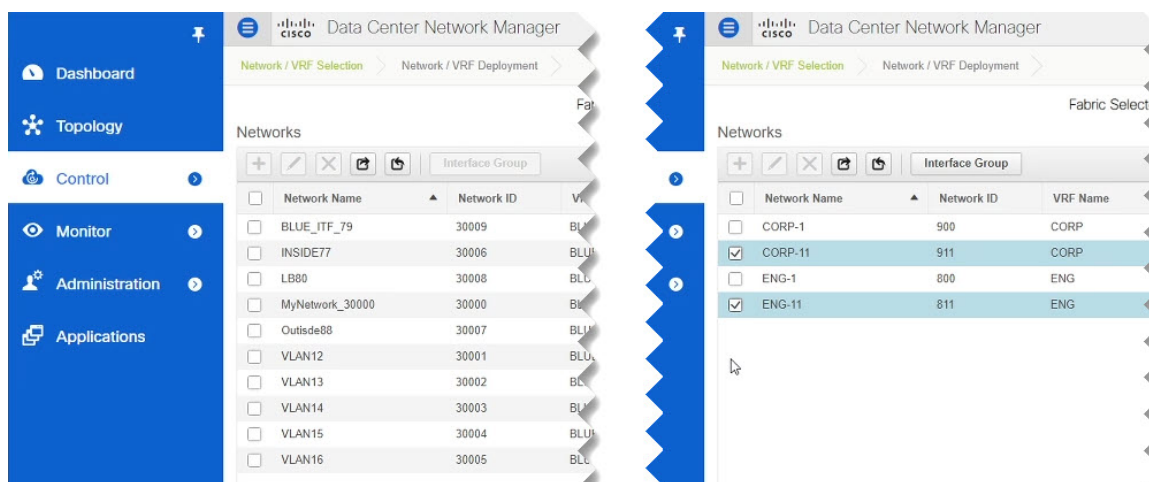
このセクションでは、インポートされた設定を、設定がまだ存在しないサイトに展開する方法について説明します。

始める前に

前のセクションの説明に従って、設定をインポートする必要があります。

ステップ 1 左側のサイドバーで、展開するテンプレートを選択します。

同じ例に従い、DCNM UIを使用して、Fabric-2 と Fabric-3 からインポートしたネットワークとVRFが Fabric-1 に存在しないことを確認します。



ステップ 2 テンプレート編集ビューの右上で、[サイトに展開 (Deploy to site)] をクリックします。

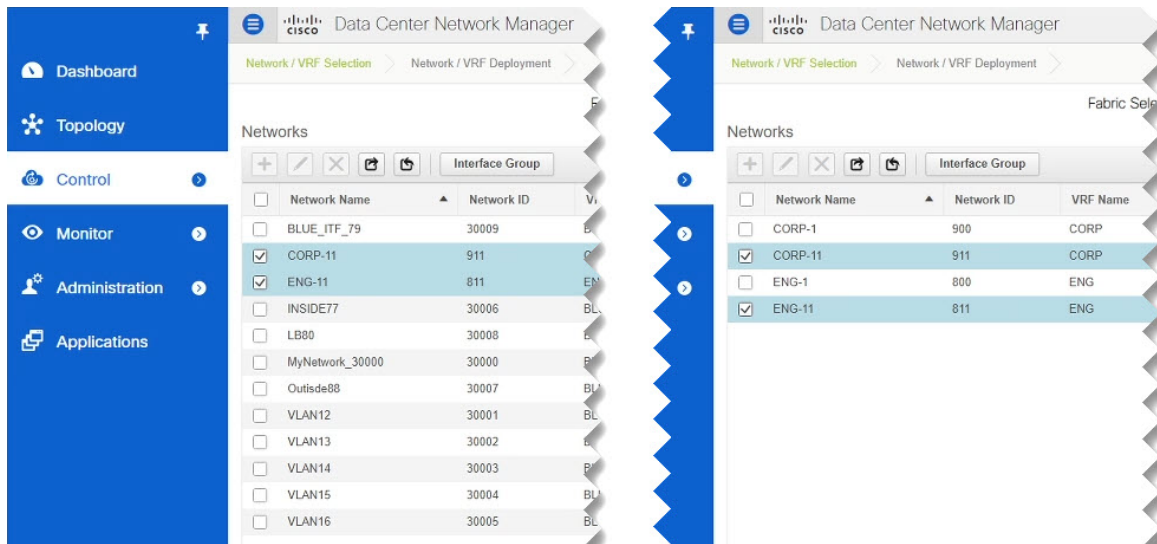
[サイトに展開 (Deploy to Sites)] ウィンドウが開き、展開するオブジェクトの概要が表示されます。

ステップ 3 [展開 (Deploy)] をクリックして、新しいテンプレートを展開します。

このテンプレートを初めて展開するので、[サイトに展開 (Deploy to Sites)] のサマリーに、サイトに展開される設定の違いが表示されます。

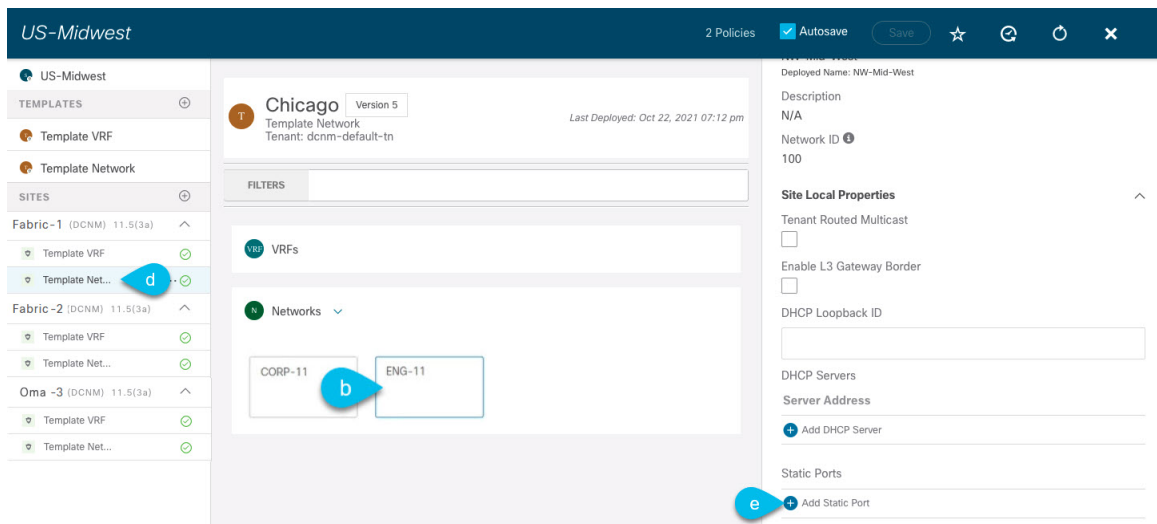
設定が展開されるまで数分かかる場合があります。NDO GUI に確認メッセージが表示されたら、DCNM UI を使用して設定が展開されたことを確認できます。

テンプレートの展開と変更



ステップ4 新しいネットワークにスイッチポートを割り当てます。

これで、Fabric-2 および Fabric-3 からインポートしたネットワークが Fabric-1 に展開されていることを確認しました。Fabric-1 には 1 つ以上のスイッチポートを割り当てる必要があります。



- Fabric-1 でテンプレートを選択します。
- 展開したネットワークを選択します。
- 右側のサイドバーで、[スタティックポートの追加 (Add Static Port)] をクリックします。

表示される [スタティックポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウで、ネットワークの VLAN を割り当てるスイッチとポートを選択します。次に [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ5 テンプレートを保存し、新しい設定の変更で再展開します。

DCNMGUIに戻り、[Networks] ページを更新することで、変更を再度確認できます。ネットワークのステータスは、NA から In Progress、そして Deployed に変わります。
